令和4年度

食品ロス削減推進表彰

表彰状授与式

目次

○ 全国大会概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
○ 表彰概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
○ 内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）
　祝辞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
○環境省 環境再生・資源循環局長祝辞・・・・・6
○ 食品ロス削減推進表彰審査委員会委員長祝辞・7
○ 表彰状授与・受賞者スピーチの様子・・・・・8
○ 会場の様子・・・・・・・・・・・・・・・・・13
○ 食品ロス削減推進アンバサダー表彰式祝辞・・14

令和４年度食品ロス削減推進表彰の表彰状授与式は、
令和４年度食品ロス削減全国大会のプログラムの中で実施しました。

令和４年度食品ロス削減全国大会

◆開催日　令和４年10月30日（日）、31日（月）

◆会場　30日　市民会館おおみや（RaiBoC Hall）
（大宮駅東口 大宮門街７階 大ホール）
さいたま市大宮区大門町２丁目118番地

◆主催　埼玉県さいたま市、
全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会※
※「おいしい食べ物を適量で残さず食べきる運動」の趣旨に賛同する自治体が参加する協議会（平成28年10月設立。事務局は福井県。令和４年６月１日現在、438自治体が参加。）

◆共催　消費者庁、農林水産省、環境省

◆後援　埼玉県

◆参加者　30日　来場者数　706人
オンライン配信

令和４年度 食品ロス削減推進表彰

１.概要

消費者等に対し広く普及し、食品ロスの削減に効果的かつ波及効果が期待できる、食品ロス削減の推進に資する取組を行った者に対して表彰を行うことにより、食品ロス削減の取組を広く国民運動として展開していくことを目的として、表彰を行います。

２.食品ロス削減推進表彰審査委員会委員

（五十音順・敬称略）

浅利 美鈴	京都大学大学院地球環境学堂 准教授
石川 雅紀	叡啓大学ソーシャルシステムデザイン学部 特任教授
	食品ロス削減推進会議 委員
小林 富雄	日本女子大学家政学部 教授
	食品ロス削減推進会議 委員
	ドギーバッグ普及委員会 委員長
馬場 裕之	お笑いトリオ ロバート
増田 悦子	公益社団法人全国消費生活相談員協会 理事長
山川 肇	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授

３.主催

消費者庁、環境省

４.後援

文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省

大臣祝辞（ビデオメッセージ）

内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）
河野　太郎

「令和４年度食品ロス削減推進表彰」を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

全国各地から、創意工夫をこらした様々な取組の御応募があり、非常に心強く感じております。審査に当たっていただきました小林委員長を始め、審査委員の皆様に改めて御礼申し上げます。

昨年に引き続き、今年も多くの皆様から素晴らしい取組をご応募いただき、とても充実した内容に、審査は難航を極めたと伺っております。

今回各賞に選ばれた皆様方は、食品ロスの削減に向けて、大きな波及効果が期待できる優れた取組を行っていただいております。

内閣府特命担当大臣賞としては、特定非営利活動法人eワーク愛媛を選ばせていただきました。フードバンク活動はもとより、常設型フードドライブの広がり、コミュニティパントリーの実施等に精力的に取り組んでおられることを高く評価いたしました。これらのネットワークの構築が、更なる食品ロス削減への取組推進のモデルとして期待できるものと考えます。

長官賞、委員長賞を受賞された取組も、学校給食における食品ロス削減、規格外野菜の販売、フードバンク活動の課題解決への取組、生徒の皆さんによる創意工夫など、今後の政策展開において重要な視点を提供して頂いたものと感じています。

食品ロスを削減していくためには、一人一人が、「他人事」ではなく「我が事」として捉え、「理解」するだけでなく「行動」に移して頂くことが何よりも大切です。政府としても、受賞された皆様の先進的な活動情報を広く提供し、取組の加速化を推進してまいります。本日は誠にありがとうございました。

環境省 環境再生・資源循環局長祝辞

環境省 環境再生・資源循環局長
土居　健太郎

食品ロス削減推進表彰の受賞者の皆さま方、誠におめでとうございます。

環境大臣表彰等は、食品ロス削減の推進に向け、地域力の向上、消費者の行動変容の促進等に効果的かつ波及効果が期待できる優良な取組を表彰するものです。

具体的には、3点ありまして、持ち帰りのmottECO、フードドライブ、そして、地域が主体となって消費者の行動変容を目指す取組、このいずれかを応募対象としています。

応募128点の中から、環境大臣賞１点、環境事務次官賞２点、審査委員長賞２点を選定いたしました。環境大臣賞の「株式会社クラダシ」は、未収穫ロスの削減を通して地方農家と学生をつなぎ、ビジネスとしての継続性を備えながら自治体との連携をも実現する取組として高く評価されました。環境事務次官賞の「株式会社ファミリーマート」は、身近なコンビニをフードドライブの回収拠点に活用する圧倒的なインパクトと波及効果を評価されました。また、同じく環境事務次官賞の「株式会社ドール」は、自社のブランド力も活かしながら、量り売りを通して消費者に新たな価値の発見を促す波及効果が評価されました。

受賞者の皆さまに改めて心からお祝いを申し上げるとともに、今後ともより一層の活躍を期待しております。食品ロス削減の先駆的な取組の更なる強化とともに、取組・成果の全国への発信・共有についても期待をいたします。食品ロス削減には、より多くの主体に関心を持っていただき、拡大・定着させていくことが重要です。受賞者の取組のような他の事業者や自治体の参考となる先駆的な事例を契機に、地域の様々な工夫が多く生まれ、全国で実践・展開できることを期待しております。

改めまして、参加いただきました皆さまの取組が食品ロス削減、さらには脱炭素社会の形成、循環型社会の形成に貢献いただくことを祈念いたしまして、私からの講評を申し上げました。本日は誠におめでとうございました。

食品ロス削減推進表彰審査委員会
委員長　祝辞

食品ロス削減推進表彰審査委員会　委員長
日本女子大学家政学部 教授
小林　富雄

本日は誠におめでとうございます。昨年に引き続きまして、今年も審査委員長をやらせていただきました。
先ほど大臣の方から、大変ご苦労された、との労いの言葉をいただきましたが、本当にご苦労されているのは、現場の方だったのではないかなと私は考えております。本当にご苦労様でした。そしておめでとうございました。

もちろん、審査にあたっては、私たちも毎年すごく苦労するのですが、特に今年は昨年度と違って、環境省と消費者庁の賞が１つになったということで、審査対象の幅が非常に広がったため、我々にとっては負担ではありました。しかしながら、審査の先生方が口を揃えて、「大変勉強になり研究の刺激を受ける」ということをおっしゃいます。私にとっても改めてこの問題の答えは学者の頭の中ではなくて現場にあるんだということを考えさせられるよい機会となりました。そのような中で、毎年進化しているというか、１年とは思えないスピードで活動の範囲が広がっています。今年度は、より本質的なテーマが提案されたと思います。例えば、地域の問題、学生インターンなどの人材育成、そして量り売りですよね。これは本当に日本の課題だと思いますが、消費者が他の人が触るから汚いと感じる方もいますが、衛生学的に言うとあまり気にするべきではないことなので、より突っ込んだ本質的な取組が進んできたことは嬉しい限りであり、かつ勉強になりました。感謝申し上げるとともに祝辞とさせていただきたいと思います。本日はおめでとうございました。

表彰状授与・受賞者スピーチ

内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）賞
特定非営利活動法人ｅワーク愛媛

大臣代理で依田審議官から表彰状が授与されました。
受賞スピーチの中で、「御協力いただく団体が愛媛県下全域にある状態に拡がっており、地域で発生した未利用食料は地域で活用していく、地域循環型フードバンク活動を目指しています。笑顔に満ちた人にも未来にも、そして環境にも地域にも優しい取組というものをこれからも一生懸命拡げていきたいと思っております。」というお話がありました。

環境大臣賞
株式会社クラダシ

大臣代理で土居局長から表彰状が授与されました。
受賞スピーチの中で、「クラダシは様々な産官学金労言士の連携で、みんなが楽しくお得な感じでロスをなくしていきたいなと思っています。エネルギー高・原料高の一方でロスが出ています。ロスを余すことなく、お金に変えたり、社会支援・環境支援の輪に繋がるような形でみんなでチーム一丸となってやっていければと思います。」というお話がありました。

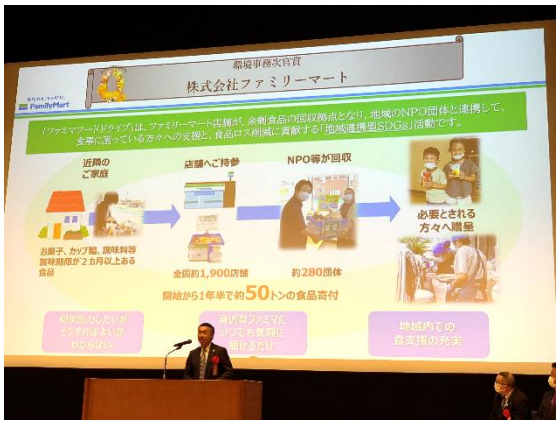
消費者庁長官賞
草加市立花栗中学校

長官代理で審議官から表彰状が授与されました。
受賞スピーチの中で、「食品ロス削減は、一朝一夕でできることではなくて、今後も授業などを通して、継続していく必要があると思います。また、小学生、中学生のうちから食品ロスや問題のことを意識できるのはとっても素晴らしいことと思いますので、今後も続けたいと思います。」というお話がありました。

消費者庁長官賞
富山中央青果株式会社

長官代理で審議官から表彰状が授与されました。
受賞スピーチの中で、「市場という立場を活かし、生産者・実需者・消費者の３方向に対して、取組の訴求を行ったことが最も大切にした点です。今後も引き続き産地や実需者に細かなヒアリングを行い、全国各地から届けられる野菜・果実を無駄なく消費者に届けるため、広い視野で様々な活動に取り組んでいきます。」というお話がありました。

環境事務次官賞
株式会社ファミリーマート



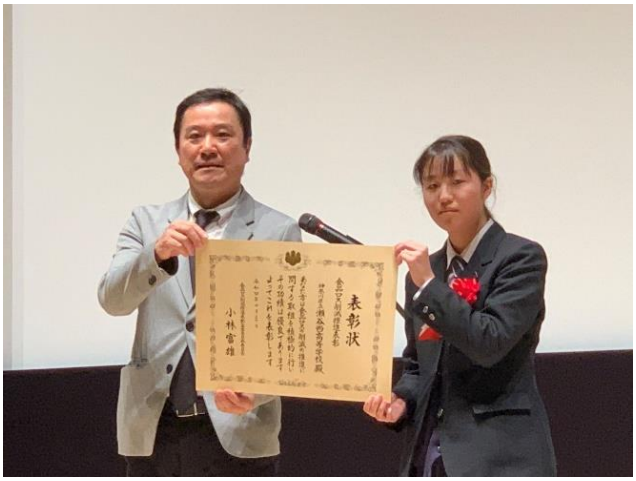
事務次官代理で局長から表彰状が授与されました。
受賞スピーチでの中で、「あなたとコンビにファミリーマートという思いのもとで、便利な商品やサービスご提供だけでなく、地域の方々と一緒にコンビになって持続可能な社会のために何をすることができるか、それをこれからも問い続けて参りたいと思います。」というお話がありました。

環境事務次官賞
株式会社ドール

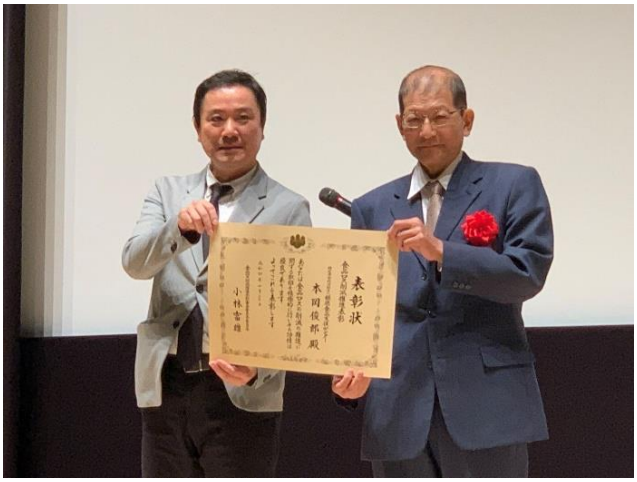
事務次官代理で局長から表彰状が授与されました。
受賞スピーチの中で、「身近なフルーツバナナを通じて、ばら売りや量り売りでの買い方というのを普及させていきたいと考えております。フルーツを扱う企業として、これからも食品ロス削減について、皆さんに身近に楽しく気軽に取り組んでいただけるようなご提案を推進していきたいと考えております。」というお話がありました。

※進行の都合により、審査委員長賞の受賞者は表彰状授与のみ

食品ロス削減推進表彰審査委員会委員長賞
神奈川県立瀬谷西高等学校



食品ロス削減推進表彰審査委員会委員長賞
特定非営利活動法人 報徳食品支援センター
本岡俊郎 氏



食品ロス削減推進表彰審査委員会委員長賞
姫路市

食品ロス削減推進表彰審査委員会委員長賞
mottECO普及推進コンソーシアム

株式会社セブン＆アイ・フードシステムズ
ロイヤルホールディングス株式会社
SRSホールディングス株式会社
日本ホテル株式会社

会場の様子

▼展示ブースの様子

▲協議会総会の様子

▲表彰状を授与された受賞者の皆さん

食品ロス削減推進アンバサダー祝辞（ビデオメッセージ）

食品ロス削減推進アンバサダー
お笑いトリオ　ロバート
馬場　裕之

　みなさま、こんにちは。ロバート馬場です。このたびは、「令和４年度食品ロス削減全国大会」がさいたま市で行われることについて、誠におめでとうございます。

　また、この大会で行われた「令和４年度食品ロス削減推進表彰」で、受賞をされた方々におかれましても、誠におめでとうございました。

　私は、この表彰の審査委員として、応募していただいた団体や、消費者のみなさんの様々な取り組みを拝見しましたが、どれも、とても素晴らしい取り組みで、誠に感銘をうけました。

　私はですね、宮古島でお店をやってまして、この９月にお店を始めてですね。食品ロスをださないこと、どれだけ大変か身に染みて感じました。素晴らしい皆様の取組に関しても、こうしたらいんだとか、たくさんヒントになりました。という事で、「食品ロス削減推進表彰」で受賞された方々、また本日、食品ロス削減全国大会に参加されている皆様、今後も食品ロス削減に少しでもご協力いただき、みなさんと一緒に大きなムーブメントを起こしていただけたら、と思います。以上、ロバート馬場でした。